

結婚に関するポジティブなイメージの浸透に向けた広報等の実施について

1 要旨・目的

結婚したいという希望を持つ若者（20～30代）は7割を超える一方、SNS等における結婚に関するネガティブな情報の影響などによって、結婚に向けた行動に踏み出せない者がいるといった現状を踏まえ、結婚に関するポジティブなイメージの浸透に向けた広報等を実施する。

2 現状・背景

- 本県が実施した「県民の結婚の意識に関する調査」（令和7年6月実施）では、結婚したいという希望がある者は多いが、その希望を実現できると思う者は半数にとどまっていること、結婚に向けた行動をしていない者では、希望を実現できないと思う者が多くなっているほか、結婚へのハードルとしては、「相手へのアプローチが得意でない」などの理由で、出会いの場所・機会がないと感じている者が多いことなどが判明した。
- また、そういった者が結婚に向けて行動するきっかけとしては、「自信が持てるようになったら」と回答した者が最も多く、SNS等の影響によって、年収や外見、性格などについてハードルを感じ、行動を躊躇している者がいると考えられる。

3 実施概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 取組内容

結婚の希望はあるものの、結婚に向けた行動に踏み出せない者をメインターゲットに、行動の後押しをするためのワークショップの開催や、その結果を用いた広報を実施内容とする「ひろしま結婚のホッペ会議」を展開する。



（メインビジュアル）

ア ワークショップの実施

20～30代の独身者を対象に、

- ・ 結婚に対する漠然とした不安や悩みなどの本音の分析・共有、
- ・ 同じような本音を抱えながら結婚に至った当事者との交流による、結婚の自分ごと化を目的としたワークショップを、全3回にわたり実施し、参加者の結婚に向けた行動への意欲を醸成する。

項目	内容
実施時期	8～9月
場 所	広島県内
対 象 者	20～30代の独身者で5名程度（第1回から第3回まで参加者固定）
内 容	参加者が正直な気持ちやセンシティブな話題でも発言でき、本音を発散しやすい環境を生み出すために、仮面着用・ニックネームでの参加とする。
第1回	参加者同士で、実際に感じている不安や悩みなどの本音を出し合い、ディスカッションすることで、結婚に向けた行動に踏み出せない理由を分析・言語化し、本音の解像度を上げるほか、参加者同士で共有する。
第2回	同じような思いを持っていた既婚者がゲスト参加し、参加者の本音に既婚者が結婚の実態をリアルに答えることで、本音と結婚の実態とのポジティブなギャップを発見する。
第3回	第1回での本音や第2回で発見したポジティブなギャップを踏まえ、改めて結婚に対して感じていることを議論し、自分ごとに落とし込む。 ワークショップの内容を参加者以外へ波及させるため、メディア取材等を呼び込む。

イ 広報の実施

より多くのターゲットに対して効果を波及させるとともに、社会全体の気運醸成を図るため、ワークショップの実施内容や、「県民の結婚の意識に関する調査」で明らかとなった結婚の実態を活用した広報を実施する。

広報に当たっては、県ホームページ内に「ひろしま結婚のホンネ会議」ページを作成するとともに、当該ページへの流入を目的として、ターゲットへ直接届けるSNS広告や県民全体へ届ける検索連動型広告等を効果的に実施する。

(3) スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	ワーク ショップ		広報実施					

(4) 令和8年度予算（一部国庫）

4,500千円（国庫2／3）

4 関連情報

関連ホームページ「ひろしま結婚の「ホンネ」会議」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/248/kekkonhonne.html>